

平成19年度第3回役員会議事録

記録者：稲葉

日時：平成20年4月25日（金）15:00～17:00

場所：興和ビル 6階 会議室

出席者：早川，奥野，島原，川邊，小林，古川，渡部，堀田，佐藤，大旗，伊藤，堀松，山下，野崎，瀬戸，稲葉（計16名）

1．第36回地すべりシンポジウムについて

プログラム

稲葉幹事長より，シンポジウムの概要について報告があった（別紙資料参照）。プログラムの開会・閉会の挨拶は新支部長が行うことになるので，この部分を修正するようにとの指摘があった。

講演要旨集

渡部副幹事長より，講演要旨集の作成について報告があった。詳細は学会研究発表講演要旨作成要領に準ずるものとし，締切は4月末日とする。

古川副幹事長より，熊谷氏の発表については時間が短くなる可能性のあることが報告された。

会場準備

瀬戸幹事より，県民会館との打ち合わせを中心に，準備状況について報告があった（別紙資料参照）。

準備状況や当日の役割分担について確認するため，後日集まることとなった（日時は後で連絡）。

意見交換会

稲葉幹事長より，4月24日時点での参加者は7名であり，今後，出席者が確定した時点で，挨拶等の依頼をする予定であるとの報告があった。

意見交換会の際に研究奨励賞の受賞をアピールできるように工夫してほしいとの意見があった。

2．支部総会議案書について

稲葉幹事長より，支部総会に諮る議案書の説明があった（別紙資料参照）。以下のような要望や補足説明があった。

平成19年度事業報告について

研究奨励賞の受賞：研究奨励賞の受賞を会員にアピールできるよう，総会での報告に加え，当日会場に賞状を飾る。また，今後の対応として，例えば，これまでの中越地震関連の書籍6冊分をまとめ，表紙を新たに作成して製本し直すことを検討してはどうか。

平成20年度予算案について

「新潟県の地すべり災害と対策の歴史」制作費の一部として，新潟県地質調査業協会，斜面防災対策技術協会新潟県支部の2協会に各100部（1部2,000円）ずつ買い取ってもらう要請をしている。これが認められれば雑収入として40万円を繰り入れ，これを支部事業費として支出することになる。

平成20年度支部役員構成について

総会において全国大会に向けて準備を進めることが承認されれば、これにあわせて現在の幹事構成を修正する予定である（詳細は次回の役員会で報告）。

3. その他

(1) 第36回地すべり現地検討会について

小林副幹事長より、次期開催候補地として、花立地区（妙高市）、米山地区（柏崎市）、樽沢地区（十日町市）の3箇所が紹介された。今後、幹事会において候補地の選定を進める。

(2) 編集委員会からの報告

古川副幹事長より、最終的な出版計画について報告があった（別紙資料参照）。

4月14日開催の第5回編集委員会にて、タイトルを「新潟県の地すべり災害と対策の歴史」へと変更した（これに伴い議案書中の関連表記を修正する）。

支部による頒布価格は1部2,500円とする。

目次の2.6.4「杭打工」は「杭工（抑止杭工）」に表記を変更する。

また、佐藤副幹事長より表紙案について報告があった（別紙資料参照）。

裏表紙についてはB案を採用し、表紙の写真を背表紙の部分にまで巻き込まないようにする。

写真には発生年の他に1行程度の説明文を加える。

C案にある「地質と地すべり分布図」については、本文中に1頁分全体を使って掲載してほしいとの要望があったが、予算の関係から難しいので今回は見送ることとする。